

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』
1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』
1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会 11月7日／第534回例会

□次年度(98～99年度)理事・役員候補者指名 □ブッフスタイル例会のため卓話はありません

◎先週報告 10月31日第533回例会

回会長報告 本日は第2750地区パストガバナー吉井隆氏にクラブセミナー講師としてお出
頂きました。よろしくお願い致します。

回幹事報告 次週(11月7日)例会後、11月定例理事会を開催いたします。

回国際奉仕委員会報告(関委員長)

前回の週報に「米山月間にちなんでご理解とお願い」という記事を掲載致しました。
本年度当委員会では米山功労者3名、準米山功労者4名を目標としております。皆様
のご理解とご協力をお願い申し上げます。

回慶事披露 ●お誕生日祝／佐藤定宏君(10月31日)

回出席報告 ●会員73名／出席48名・欠席25名

ビジター(2名 敬称略・順不同) 吉澤審一(東京) 西山 巖(東京南)

キンロスRI会長より 11月のロータリー財団月間についてのメッセージ

ロータリアン各位

西暦2000年までに全世界からポリオを撲滅しようとい
う目標に向けて素晴らしい前進がなされています。

しかしながら、我々のこの目標の達成は決して容易な
ものではありません。目標達成にはポリオ撲滅活動を支
持させる全ロータリアンの集中した努力が肝要です。

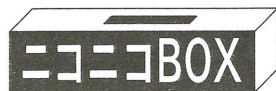
ご承知の通り11月はロータリー財団月間です。この月
間は、我々の財団を通して行う諸活動に思いを致し、新
しい活動に取り組むべき時に当たります。私は各ロータ

リークラブが、ポリオ・プラス・パートナー・プロジェ
クトに参加されるか、或いはポリオ・プラス・パートナ
ーに関するクラブのプログラムを持たれることにより、ロー
タリー財団月間を記念されることをお勧め致します。

遠くない将来の何時の日かに、歩行障害をもたらすこ
の病から世界の子供達を守りきる日を確実にものにする
ためには、引き続きロータリアン各位が積極的にポリオ
撲滅活動に参加されることが非常に重要です。

敬具

グレン W. キンロス
国際ロータリー会長



10月31日13件 39,000円
97～98年度累計 822,432円
多額のご寄付を有難うございます。
(敬称略・順不同)

田辺賢三／吉井パストガバナーをお迎えして。佐藤定宏／御蔭様で満74才に成りま
した。不思議に元気で居ります。福島賢哉／先日は誕生日のお祝い有難うございま
した。入沢頼二／上海、武漢、重慶を訪れ、変わりゆく中国を実感しました。岩瀬
秀郎／中旬に中国に行ってきました。お久しぶりです。岩井逸夫／このところメ
ーキャップが続きました。よろしくねがいます。西澤正雄／いいのは天気ばかり
ですネ。旅行楽しみにしています。牧野吉郎／欠席が続き何となくしきいが高く感
じますので。相澤成憲／メーキャップが続きました。きょうも早退させていただきます
ので。山川政樹／南アフリカに2週間行って来ましたので、メーキャップが続
きました。高須康有／本日、早退しますので。谷村義雄／休みが続きました。中国
杭州で展覧会をやってきました。松原秋夫／本日ニコニコを担当させて頂きました。
皆様ご協力ありがとうございました。

◎お知らせ

会員事務所移転／小原 渉君

〒105港区芝公園2-6-8 日本女子会館7F TEL(5401)1100 FAX(5472)7788

◎次週予告

11月14日第535回例会

回卓話予定「我国の社会的文化的伝統と21世紀の科学技術」

勸神奈川科学技術アカデミー理事長 長 倉 三 郎 氏

回第4回クラブセミナー 「最近のロータリーに思う」

第2750地区パストガバナー
東京品川ロータリークラブ会員

吉井 陸氏



ご紹介いただきました吉井でございます。「最近のロータリーに思う」というテーマでお話をということですが、田辺さんのご本心は「最近のロータリーを憂う」ということだろうと思ってやってきました。

この月曜日から株が暴落し始めました。何といっても国民経済の象徴ですから、これは日本危うしということになってくるわけです。

私はロータリーの会員ですけれども、会員である前に、経済人・産業人であります。私は田辺さんと同じように経済人だと思っています。こちらの新南、その源流である南、私のクラブの母体は西クラブですが、東京のロータリーは大体西と南から分かれています。この二つのクラブは、職業人、産業人が非常に多い。日本はすべてアメリカの物を真似て作って、日本の旧来あるところの組織に当てはめていくものですから、東京にできたものは日本の代表者の集まりであり、西、南はいわゆる産業界のリーダーが集まっています。

2750地区が分かれた時は37クラブで、今は84クラブになっていて、その拡大が如何に目覚ましかったかが分かります。ロータリークラブは全世界で2万幾つかあって、各地区に属しています。ロータリークラブは、自主性をもって運営されている。各クラブは全部ロータリーの国際本部に直接つながっており、そのために膨大な金を掛けてコンピュータ化したりしています。我々がガバナーをした当時、日本の地区は24あった。ガバナーは如何にクラブと国際本部とのつながりを良くするかを横から手助けするのが仕事である。あまり数が多い場合には分区分けに分けて分区分代理を置いてよいという約束でできました。日本的に全部を同じにすることはないと思っていました。当時分区分は6つあり、服部ガバナーの後半からは分区分代理を置こうではないかということになったが、ただし、ガバナーの周りの組織は最も簡単にしておけばよいとしてやりました。現在は分区分が一つのガバナーのようになり、これに膨大な役員ができています。これは日本人の通弊です。

似非（えせ）という言葉がありますが、似てしかも非なりと書く、辞典を引くと体を表さないこと、あるべき姿を備えていないのが似非と言う。似非学者とか、似非紳士とか。日本という国は知識だけが発達して日本人の持つ固有の名誉好きというか、屋上屋を重ねて遂に崩壊するということになる。日本の経済が崩壊するということとはそういうことなのです。ソニーがひとり株価1万円でおるということには、次のような背景もあります。

官主導の日本の産業そして金融システムには、新しく出てきたものに資金を貸す方法がなかった。私は、61年にアメリカに行きまして、アメリカのルールに従えばアメリカで資本が調達できるということで、ADRを発行して第1号になったのですが、瞬く間に世界中に上場致しました。ソニーの商品が世界を制覇するのはそれから15年程かかっています。ソニーは世界的だといわれていますが、70年の初めにはソニーの株主が世界中に広まり、外国人の株主が50%を超える頃には、ソニーのあるところ日没がない、昔の大英帝国のようだと冷やかされたこともありました。

私が産業人という立場から見ると、日本の制度は官主導でできていて、もうひとつ前は軍人主導があって、明治政府以降軍人と官僚で作られた様なものです。我々産業界はその中で喘いで喘いでその間を如何にして生きるかということで、精一杯でした。金は世界中からやってくるということが分かったものですから、私が外国人から集めた金は約4千億円で、ソニーの今日が築かれた訳です。そんなことで、国が減んだり、組織が衰退をするという

のは何故かという、リーダーがいなくなるため、ローマ帝国以来皆そうなのです。リーダーが税金を余計に取る、世界の歴史の中で50%の税金を取られた国では大体革命が起って滅んでいる。そういうことを国際的に比較してみると、日本では形だけは東京証券取引所に全企業が公開株として上場しています。間接金融から逃れるため証券市場を通じて金融するために上場するのではなく、とにかく取引所があるから上場している。だから日本には本当の株主は育っていない、本当の経営者はいないということです。日本は要するに産業別に分けた談合システムです。世界中で経済団体連合会等というものは日本だけなのです。日本は省別に、事業別にありまして、銀行協会、建築協会、電子機械工業会等、400位あるのではないのでしょうか。アメリカでの交渉は談合業界、談合の固まりです。それを我々は気がつかないでやっているものだから、いつまで経っても日本は発展途上国なのです。中曽根さんの時代まではG7の一角を占めていた、それが一昨年の11月国連の50周年の記念式典に村山総理が出席し、以来日本は185分の1の国と言われるようになったのです。

この一週間、日本の株価がどこで落ち着くのか、ソニーが1万円を崩れたらどうなるかと……。これは日本の象徴ですね。日本の評価はガッカリときました。四代証券の幹部が刑罰を受ける、三菱自工さんは社長と会長が辞めるとい、その前にも一年中証券会社、金融の不祥事が相次ぎました。それは突き詰めてみると、あるが故に正しいという日本の模倣産業がその上へその上へと積み上げてきた、そしてやたらに頭でっかになり、理念を失ってくる、所属してる連中も所属することに誇りを感じなくなってきた。ついこの間失楽園ブームがあったのを御存じでしょうか。白書にいわく経済効果は60億であるという。そこへもってきてダイアナさんの悲劇、日本はこれから不倫ブームだといっています。日本の経済は一体どうなるのか。ロータリーの今の憂い、悩みはこの延長線上にあります。日本の冠婚葬祭はGNPで2%に相当する経済効果があるそうです。結婚式、葬式、お祝い。日本の勲章は勲一等から勲八等まであり、さらに細分化されていて20種類位あるのではないのでしょうか。我々が真似をしたイギリスでは勲章は5段階しかない。勲章というのは、金はもらわない、国のために働く、命を賭ける、それに出すものである金鶏勲章が起こります。日本もそうであったが、第一次大戦後、役人と民間人、女性も加えるようになって、今では一度に4千何百人にも叙勲者がいる。そして、次には感謝の会をやり、お礼参りをして、お祝の会があって、この日昔は電信が全部停まりました。この8年間日本の経済成長は1%、冠婚葬祭だけで日本の経済は食ってきている。だから潰れるのも当たり前です。ところがロータリーもそうなりますよと申し上げたい。

私が品川ロータリーに入ったのは昭和36年で、井深、盛田氏を社業に専念させるため、経団連やロータリーに2人を出してはいけないということで、対外的な生活は専ら私が担当しました。産業が潰れれば生活基盤は無くなる、産業人の多いこの地区の潰れは分かつくれると思う。今ソニーの売り上げは6兆円、従業員13万人、株は1万円している、アメリカにもあまり例がありません。この規模の企業なら普通ロータリーに20人位出すところですが、私以外ロータリアンは1人もいません。盛田氏は最後は経団連に行くことになったが、その時サポートチームとして中堅の社員40人程度用意した。

そしてそこは談合組織、外国から見たらますます評価を下げる、ジャパソレイトは下がるでは日本は立ちいかなくなります。今は185分の1の国になってるが、せめて10指にあまる位の評価を受けませんと。

この辺で。どうもありがとうございました。

(まとめ 村山)

〈会報委員〉

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士

(編集担当順)

東京新南ロータリークラブ

会長：武下 朗 副会長：山下忠治 幹事：渡部一元

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111